

# Monthly Report

Vol.53 / 2010 Oct.

## 第2グラウンド サッカー・ラグビー場の天然芝が順調に生育



これまでクレイ(粘性砂質土)だった第2グラウンドのサッカー・ラグビー場を天然芝生化するために、塩釜方式を採用して天然芝を育てておりましたが、芝は順調に生育し、グラウンド一面を覆いつくすまでに成長しました。この期間一切の立入を禁止しておりましたが、11月上旬に竣工式を経て、ラグビー部の練習を手始めに使用を認めることとなりました。練習による芝の損傷をみながら維持管理を続け、正式に使用が可能と確認されれば、一般の立入規制が解除されます。

グラウンドの芝生化は、世の中のニーズとともに全国の小中学校などで広がりを見せており、これはスポーツの現場でも同様です。天然芝になることで、選手のケガ予防やパフォーマンスの向上、体育施設管理士養成のための芝生に対する知識向上などが期待されます。

### 目次

天然芝が順調に生育	1
日本生涯スポーツ学会	2
9月期修了式 科学研究費補助金研修会	3
海外研修合同報告会	4
English Club	5
介護浴槽2台設置 第5体育館紹介	6
仙台大学公開講座 ゼロ災トライアル達成	9
OB・学生の活躍	10

学生の活躍や、取組みをご存知でしたら  
広報室までお寄せください。

Monthly Reportで紹介する他、報道機関  
にも旬な話題を提供していきたいと考えて  
おります。

本誌へのご意見・ご質問等がございましたら、  
広報室までご一報ください。

#### 広報室

直通 0224-55-1802

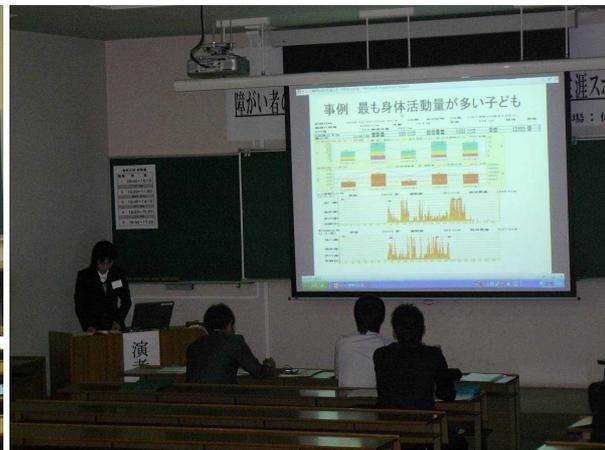
内線 佐藤美保 256

土生佐多 200

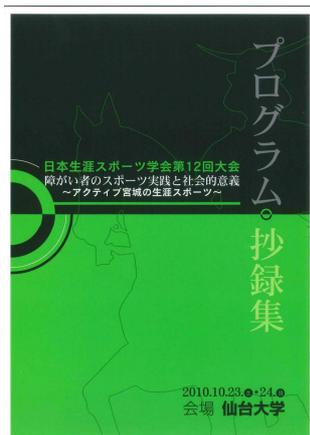
伊東宏之 271

Email:kouhou@scn.ac.jp

## 本学を会場に日本生涯スポーツ学会第12回大会が開催される



日本生涯スポーツ学会第12回大会が、仙台大学を会場に10月23日（土）・24日（日）の2日間開催された。東北地方で開催されるのは初めてで、学内における会員である仲野先生（理事）が大会組織委員長、柳先生が大会事務局を務めた。本学会大会は、日本生涯スポーツ学会が主催、仙台大学が共催という形で開催され、体育学科スポーツマネジメント・コース並びに健康福祉学科の教員を中心に学生スタッフとともに運営に当たった。



大会テーマは、「障がい者のスポーツ実践と社会的意義～アクティブ宮城の生涯スポーツ」であり、ベガルタ仙台事業部の貝田真氏による「サッカー」1 ベガルタ仙台的地域貢献活動～バリアフリーサッカー活動の実際～」の基調講演では、ベガルタ仙台が取組んでいる活動が具体

的に紹介された。また、シンポジウムでは「障がい者のスポーツ実践と社会的意義」のテーマで、「研究、障害者スポーツ、スペシャルオリンピックス」のそれぞれの立場からのお話があった。この基調講演とシンポジウムは無料の一般公開であり、柴田町民をはじめとする学会員以外の方も多数参加した。

ワークショップでは、健康福祉学科、CO-ACT、UNITYの協力を得て、「健康づくり運動サポーターの養成」「足こぎ車椅子を用いた障害者スポーツの実際」が紹介された。

本大会における研究発表演題数は38題（口頭発表・26とポスター発表・12）であり、61名の一般参加者と10名の学生が参加した。なお、来年度の第13回大会は、大阪産業大学が担当校として開催会場・期間・テーマなどを企画し運営することになっている。

（情報提供：スポーツマネジメント・コース主任 馬場宏輝）

## 平成22年度9月大学院修了式



10月5日（火）にA棟大会議室において大学院の修了証書・学位記授与式を挙行し、小室希さんに朴澤学長から修了証書が手渡されました。小室さんはバンクーバーオリンピック日本代表となるため2年生後期を休学してスケルトン競技に

専念、ワールドカップで上位入賞するなどして見事、五輪代表に初選出されました。これらの功績を称えて、学長賞と記念品も贈呈されました。小室さんは10月1日付けで本学の研究生となり、既にワールドカップ出場のため海外遠征に出発しています。今シーズンも小室さんの活躍から目が離せません。

### 小室 希さん

今シーズンはカナダのウィスラーで開催されるワールドカップ第1戦からの参戦となります。今シーズンは競技で“全大会ベスト10入り”を目標にしていますが、競技以外での情報収集も重要になってくると考えています。自分に活かせることはどんどん取り入れて行き、応援して下さい皆さんの期待に応えたいです。

## 平成22年度 科学研究費補助金研修会 開催



10月8日（金）、A棟大会議室において日本学術振興会研究助成第一課課長代理 江藤直行氏を講師に招き来年度の科学研究費補助金獲得に向けた研修会が開催されました。

今回のような企画は、本学にとって初めての試みで「科学研究費補助金制度の最近の動向」と題して、主に補助金の応募に係る制度の変更点や審査方法、研究計画調書作成上の留意事項等非常に参考になるお話を頂きました。来年度に応募を前に、参加された先生方からは前向きに取り組もうとする意欲が感じられた研修会でした。

## 明成高校 大河原地区教育懇談会



9月30日（木）、A棟大会議室において明成高校の「平成22年度大河原地区教育懇談会」が行われ、宮城県南地区に所在する中学校21校の校長先生に出席頂き、明成高校の教育方針や特色ある取り組みについての紹介がなされました。明成高校教員と共に、本学からもキーナート副学長はじめ校長職を経験している諸先生方が出席しました。所用で出席できなかった朴澤学長の代役としてキーナート副学長が挨拶を行い、本学の取組みの紹介と、「明成高校の卒業後は是非、本学に進学してもらいたい」と挨拶を述べられました。

## 海を越えて輝く学生達 Autumn2010(海外研修・短期留学合同報告会)



10月16日(水)16:00~F101教室において、国際交流センター主催の学生達による海外研修・短期留学合同報告会が開催され、朴澤学長、キーナート副学長、鎌田国際交流センター長他、総勢48名が参加しました。

最初に朴澤学長より「数年前までは単発で実施していた海外研修の報告会を、こうして合同で実施できるようになったことは、本学が世の中の動きにあわせて国際化を進めている証でもあり、参加した学生達は引き続き英語も含め勉学に努めてほしい」とのご挨拶がありました。

### ベラルーシ研修会

最初に発表したのは6月13日~20日までベラルーシ体育スポーツ学院などで学んできた新体操部の5名で、現地の新体操部の学生とは骨格や柔軟性に違いがあり、彼女達が複雑でよりダイナミックな動きができることに感心したそうです。また、新体操はベラルーシで最も人気のある競技であり、選手達は花嫁候補になるとの楽しいエピソードも紹介されました。

滞在中、学生達が現地のテレビ局から取材され放映されたビデオが流れると、参加者より「ほうっ」という驚きの声があがり、映像に食い入るように見入っていました。

### カリフォルニア州立大学ロングビーチ校研修

2番目に発表したのは、8月15日~22日までカリフォルニア州立大学ロングビーチ校で短期研修を行った7名です。運動栄養とスポーツマネジメントの混合プログラムに取り組んだ学生達は、一般的にアメリカ人は日本人よりもプロフェッショナル意識が高いことや、試合においても競技そのもののみならず、エンターテインメント性を織り込み、いかに観客が楽しめるか、リピーターになって何度も競技場に足を運んでくれるか、も含めて重要な要素であるなど、プ

ロススポーツをビジネスの視点で捉えつつ、数多くのことを学んだそうです。また、通訳を介するとどうしても情報が限られてしまうので、もっと英語を学び、次回にはできるだけ自分で理解することができるようにしたいとの率直な声もありました。

### ハワイ研修州立大学ATアドバンスコース研修

3番目に発表したのは8月31日~9月6日までハワイ州立大学でアスレティックトレーナーのアドバンスコースに参加した7名です。初日に今回の目玉の一つである「献体解剖」を見学した学生達は、対応していただいたUH関係者の多大なご尽力により、実際に献体に触る許可も得られたそうで、日本では到底体験できない貴重な学習をしたそうです。また、ワークショップでは、米国アスレティックトレーニング界で流行しているRolfingという手技を使った筋膜開放についての講義を受け、筋膜の役割とその重要性に関し、最新の情報を得ることができたとのことでした。今回の海外研修に際しては、保護者会からのご理解とご支援があったことについて、心よりお礼申し上げますとの挨拶がありました。

### カーニ应用科学大学短期留学

最後に発表したのは、8月24日~9月21日までフィンランドにあるカーニ应用科学大学に短期留学をした1名です。(体育学科1年 郷野茂さん \*後述「English Club」でも紹介)海外が初体験となる郷野さんの目標は、自ら英語を話す環境に置き、語学力をあげること、海外の友達をつくること、日本とフィンランドの授業の違いを肌で感じるなどだったそうです。前半部分を果敢に英語で発表するなど、郷野さんは学んできたばかりの英語をさらにレベルアップさせるため、毎日コツコツ努力している様子が伺えました。郷野さんは、世界各国から集まってきたクラスメートと共にスポーツやレジャー、解剖学、生理学などを学びつつフィンランドの野球を経験するなど、講義と実技の両方に体当たりで臨んだそうです。日本の漫画が「MANGA」として大人気であり、合気道愛好者が多いことも新たな発見とのことでした。郷野さんは、来年の9月から再び留学することを希望しており、1年間かけてどの国で学ぶかをじっくり検討したいと話していました。

## “English Club” has just started.



ご存知でしたか？毎週木曜日、11:50～13:30頃にかけて、学食奥の左手パーテーションで仕切られた場所より、なにやら「英語」で話す楽しい声が聞こえてきます。

10月7日からマーティ・キーナート副学長による「English Club」が始まりました。これはキーナート副学長が毎回スポーツビジネスジャーナルやジャパントゥタイムズなど、スポーツに関する英語記事を配布し、この内容について全員で話しあったり、自分の意見を英語で簡単に書いて次週に持ち寄るなど、ランチを取りながら気軽に英語を学ぶための試みです。学生、教職員、誰でも参加は自由で、毎回平均して12名程度の出席者が時間の許す限り「生の英語」を聞き、ブラッシュアップしています。これまで3回開催され全て出席している「皆勤賞」の郷野 茂さん（体育学科1年）は「8月末～約1ヵ月程度、一人でフィンランドにあるカヤーン応用科学大学に短期留学をしましたが、自分にとっては初海外だったので、せっかく学んだ英

語を日本に戻り忘れることがないよう、英語を話す環境を望んでいました。こういう機会を作っていただきとてもありがたいです。キーナート副学長は日本語でも説明して下さるので分かりやすいですし、慣れてきたらたとえばずっと英語漬けでもおもしろいと思います。あいにく英語で映画を鑑賞する会はアルバイトの関係で参加できないため「English Club」の方はこれからも顔を出し、学んでいきたいです。」と話しています。

郷野さんは、中学から高校にかけてALTに積極的に話しかけたり、NHKラジオで「英会話」を聞いたり、もともと英語には興味を持っていたものの、いわゆる幼少から英語を学ぶような特別なことは一切していないそうです。海外に長期留学をしなくても、本人の志と努力があれば少しずつ語学を身につけることができる頼もしいお手本として、今後の活躍が楽しみです。みなさんも是非、昼休みのひととき「English Club」に参加なさってみませんか？



### English Movie Nights with Marty ~後期も始まりました~

#### <教職員用> 18:00～ 学生食堂

- 11月29日（月）「インビクタス・負けざる者たち」（2009 - ラグビー）
- 12月20日（月）「グローリー・ロード」（2006 - バスケットボール）
- 1月24日（月）「ルディ」（1993 - アメリカンフットボール）

#### <学生用> 16:30～ B203教室

- 11月30日（火）「インビクタス・負けざる者たち」（2009 - ラグビー）
- 12月21日（火）「グローリー・ロード」（2006 - バスケットボール）
- 1月25日（火）「ルディ」（1993 - アメリカンフットボール）

## 入浴実習室に新しく介護浴槽2台設置

入浴実習室の浴槽の老朽化、および、新カリキュラムに伴う生活支援への対応を踏まえ、新しい浴槽2台が設置されました。

1つは、専用の車椅子に乗ったまま入浴できるタイプ、もう1つは座っている状態から降りて入浴するタイプです。浴槽のサイドが一部下がるため楽々と浴槽内に入ることができます。浴槽内に入った後、タンクからお湯が一気に溜まる仕組みとなっています。ほとんどの介護施設では、このような設備を入れているため、これまで以上に実践に近い状態での実習が可能となりました。

10月18日(月)には業者による説明会が行われ、入浴実習などを担当する大山准教授、庄子講師、山野講師、後藤講師と管理課職員が立ち会いました。

### 介護浴槽ボランティア HK-775



浴槽内に置いた回転式の円盤(移乗シート)に座ると身体の方向を変えることが可能。要介

護者が浴槽内に入ると手前下の扉が上がり、お湯を溜められる状態となる。その後、タンク内のお湯を浴槽内に移動させて入浴する。

製品の詳細は

<http://www.og-giken.co.jp/product/item/bath/hk-771775.htm>

### 介護浴槽 HK-825



専用の車椅子に座ったまま浴槽するタイプで、浴槽内で車椅子を固定した後、扉を閉め、奥のタンク内のお湯を浴槽内に移動させて入浴する。

製品の詳細は

<http://og-giken.co.jp/product/item/bath/hk-825.htm>

## 建設中の第5体育館を紹介



敷地面積 63,837.50m<sup>2</sup>  
 建築面積 3,592.41m<sup>2</sup>  
 延床面積 4,789.30m<sup>2</sup>  
 建物の高さ 17.6m

2010.10.18撮影

大学講義棟の東側に新築するため9月に着工した第5体育館は、現在順調に工事が進められています。この体育館は、バスケットボールコート3面、バレーボールでは4面が同時利用できるアリーナと、3階建ての研究棟を持ちます。

アリーナには240人収容できる観客席を配置。競技データを収集するため、天井や壁面にカメラを接続することが可能となっており、集めた情報は研究棟内の研究室で分析できます。研究棟にはこの他、ロッカー、シャワールーム、小規模教室を設置予定で来年3月完成予定です。

## 「伊達なSPORT PROJECT」の教育プログラムを紹介



2012年1月13日～22日までオーストリア・インスブルックで開催される「第1回冬季ユースオリンピック大会」へ向けての選手発掘・育成・輩出を目的として今年4月にスタートした「伊達なSPORT PROJECT」のプログラムが着々と進んでいます。

日々トレーニングを重ね、高校生3名（佐藤弾さん・野倉大貴さん・安藤早紀さん、いずれも柴田高1年生）のスケルトン競技レベルも着々と向上していますが、今回はスケルトン以外の教育プログラムを紹介します。

「伊達なSPORT PROJECT」では各種教育プログラムを取り入れ、スケルトンの技術面を鍛えるだけでなく、知徳・徳育・体育および食育を含めた「生きる力」を構築することもねらいとしています。

ています。

この教育プログラムの一環「みやぎの地場産業・地産地消 食育プログラム」では、協賛企業から提供いただいている食品の製作工程見学のため10月2日には蔵王酪農チーズ工場を訪れ、チーズやバターづくり体験や、製品行程の見学を行いました。

また、翌3日には、田植えでもお世話になったエム・オー・エー商事東日本販売と自然農法丸森普及会の方々にご指導いただきながら稲刈りを体験しました。稲刈り後は、丸森普及会婦人部の方が昼食を用意してくださり無農薬の新米や野菜をご馳走になり、地域の方との交流を深めることができました。

3名からは、『協賛企業の方々手間隙かけ作ったものを提供いただいているので実力をつけて結果を出さなければいけないと思いました。』『協賛企業の方々との交流し、自分たちが多くの方々に支えられていることを実感しました。』などの声がきかれ、多くの方々がこのプロジェクトに関わっていることを再認識したようです。

この他の教育プログラム「ランゲージプログラム」では、キーナート副学長の「Marty's Movie Night」も英語で本学の学生と共に鑑賞しています。



## 管理棟1Fに田中美衣選手のサイン入りタオルを展示



9月に行われた「柔道世界選手権2010東京大会」女子63級に初出場し、銀メダルを獲得した田中美衣選手（ぎふ柔道クラブ24 / 平成21年度卒）の快挙を称え、本人のサイン入りタオル（額入り）がA棟1Fに飾られました。

「見えたぞロンドン」の声援と共に2012年ロンドンオリンピックへの出場を賭け、南條充寿先生・和恵監督の熱い指導を胸に田中選手がいよいよ世界に羽ばたきます。

## みやぎまるごとフェスティバルに運動栄養サポート研究会が参加



### 片岡のぞみさん（運動栄養学科3年）

私達のテーマは「LIFE WITH VEGETABLE ~親子で楽しむ野菜~」で、健康な生活を過ごすために欠かせない“野菜”に着目し、「リーフレットの配布」、「野菜入りのケーキの無料提供と作り方の実演」、「野菜に関するゲーム」などを行いました。普段実践している運動栄養サポート研究会で培った経験を活かせたと思います。準備は夏休み前からはじめ、学年に関係なく全員で協力することができました。想定していた150名を越す約300名の方々に来場いただけたのが嬉しかった反面、用意した野菜入りケーキが足りなくなり、全員に配ることができなかつたのが心残りです。

今回、運動栄養サポート研究会のブースに来てくれた方々の野菜に対する関心が少しでも大きくなってきていたら嬉しいです。今後も地域の方と触れあうイベントなどに積極的に参加していこうと思います。

多彩な「味」や「技」が一堂に会し、宮城県をまるごと体感できるイベント「（第11回）みやぎまるごとフェスティバル」が10月16、17日に宮城県庁及び勾当台公園で開催され、本学からも運動栄養サポート研究会（<http://www.sendaidaigaku.jp/gakubu/eiyo/support.html>）の学生12名が参加しました。本学の参加は4回目、今年も宮城県保健福祉部健康推進課が担当する17日の食育コーナーで活動を行いました。学生達は年齢層も様々な地域の方との交流を楽しんだようです。

## 運動栄養学科 包丁支給・調理技術講習会

< 提供：菊地新助手 >



9月28日、30日に運動栄養学科1年の調理学実習の授業内で、個人の名前が彫られた包丁が支給されました。包丁支給は、運動栄養学科の伝統的行事であり、今年度で8回目となります。

包丁の支給には、ただ栄養の知識を持っているだけではなく、自らが包丁を握り、おいしい食事を作ることのできる栄養士を目指してほしいという意味が込められています。包丁を受け取った学生は、自分の名前を確認し、次回から始まる授業を楽しみにしているようでした。

また、授業内で『亀縞の郷 今昔庵（岩沼市）』の齋藤勝氏を講師に招き、調理技術講習会が開催されました。調理に携わる者としての心構えや、包丁の研ぎ方、基本の切り方などを学びました。講習会の終わりには、代表の学生が「包丁の基本をしっかりと身に付け、これからの調理実習も頑張っていきたい」と述べ、これからの授業への意気込みを感じました。

## 仙台大学公開講座「体育大学からの提案」が開講

～学都コンソーシアムサテライトキャンパス～



平成22年度学都コンソーシアムサテライトキャンパス仙台大学公開講座「体育大学からの提案」が開講しました。学都コンソーシアムサテライトキャンパスは仙台市市民活動サポートセンター（仙台市青葉区一番町4-1-3）を会場に毎週土曜日に開催されており、加盟している団体が持ち回りで教室を担当しています。10月23日から3週は本学が担当し、加賀洋平新助手、高橋陽介新助手、白幡恭子新助手がそれぞれの専門分野の講義を行います。

初回（23日）となった加賀新助手が担当した

「勝つ準備方法～S & Cコーチからの提案～」には中学校教員やスポーツ団体の方々の参加があり、たいへん高い評価を頂いています。これから開催される講座への申込みはまだ間に合いますので、ご興味をお持ちの方は是非お申込み下さい。（担当：事業戦略室）

### 講座1「勝つ準備方法

～S & Cコーチからの提案～

担当：加賀洋平新助手

平成22年10月23日（土）

13:00～14:30 15:00～16:30

### 講座2「スポーツにおける膝前十字靭帯損傷予防プログラム」

担当：高橋陽介新助手

平成22年10月30日（土）

13:00～14:30 15:00～16:30

### 講座3「アスレティックトレーナーの仕事

～日本とアメリカの違いについて～

担当：白幡恭子新助手

平成22年11月6日（土）

13:00～14:30 15:00～16:30

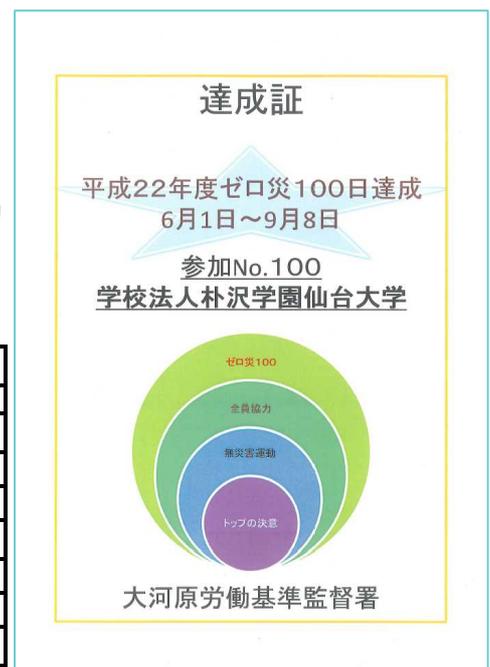
## 「ゼロ災トライアル100」達成証

大河原労働基準監督署が労働災害の撲滅に向けて6月1日～9月8日の期間「ゼロ災トライアル100」と称する100日間無災害運動を実施し、目標である100日間無災害を達成した本学にも「達成証」が交付されました。今年の「ゼロ災トライアル100」には、大河原労働基準監督署管内の105事業場が参加し、90事業所で目標を達成したとのことです。今後も本学での労働災害ゼロが続くように各々が心掛けて就業しましょう。

### 労働災害発生状況

平成22年1月～9月末

業種	大河原署管内			宮城県管内		
	死傷	死亡	前年比	死傷	死亡	前年比
<b>製造業計</b>	38		+7	326		+13
食料品製造業	14		+4	168		+20
機械金属製造業	17		+4	90		+6
<b>建設業</b>	14		-3	206	4	+5
土木工事業	4		-1	62	2	+5
建設工事業	8		±0	117		-7
<b>運輸交通業計</b>	3		-4	211	6	-5
道路貨物運動業	3		-4	176	4	+1
<b>商業</b>	12		-3	253		+26
<b>全産業計</b>	108		±0	1521	15	+109



## 初代表の植松鉦治選手が世界体操競技選手権大会で大活躍



植松鉦治選手(平成20年度卒 / KONAMI所属)が10月16 - 24日にオランダで開催された世界体操競技選手権大会に初代表として出場し、得意の鉄棒で16点台をマークするなど堂々の演技で日本代表の団体銀メダル獲得に大きく貢献しました。また、個人総合でも8位入賞するなど総合力の高さを示してくれました。金メダルの期待がかかった種目別鉄棒では得点を伸ばせず8位に終わりましたが、種目別平行棒で5位となるなど世界に「植松鉦治」の名を刻んでくれました。2012年のロンドンオリンピックに向けて、これからの活躍から目が離せません。

## 男子バスケットボール部が7年ぶりにインカレ出場権を獲得



男子バスケットボール部が第11回東北大学バスケットボールリーグで2位となり、7年ぶりとなるインカレ出場権を獲得しました。1位との勝敗は同率で、僅かなポイント差による2位です。今年、チームが大きく成長した大きな要因として、今年から監督兼コーチに就任した村田健一氏の存在が大きいと選手達は話しています。

村田氏は選手としても社会人チームの三菱電機で活躍し、指導者としても同社の監督などを務めた経験をお持ちで、豊富な経験から戦術の組み立てや選手の特徴をこの短期間で引き出してくれているようです。

主将 **渋谷 翔さん**(体育学科4年)



多くの人たちに支えてもらいながら7年ぶりのインカレ出場が果たせてたいへん嬉しく思っています。特に、今年から村田監督が就任したことでチームが大きく成長したと感じています。その一つが意識面で、練

習中も試合をイメージして取り組むようになり、同じ時間でも質の高いものとなっています。もう一つが技術面で、些細な動作でも重要となるポイントを指摘していただければ、それが試合中に活かされていることを選手たちは実感しています。監督から新しい事を吸収するためにも同じことを2度言われぬように意識して練習に取り組んでいます。また、監督は選手とのコミュニケーションを大事にし、話し合いの場を多くつくって下さるので、部員たちは監督に全幅の信頼を寄せています。このチームはまだまだ成長段階にあり、11月29日に開催するインカレまで更にチームのレベルアップを図りたいと考えています。そして近年、東北のチームが超えられていない11回戦の壁を突破することを目標に頑張ります。

なお、女子も3年連続で第2位となり、インカレ出場を決めております。女子のインカレは男子よりも1週間早い11月22日から大阪市中央体育館(大阪府)で開催されます。

結果の詳細、個人賞はこちらに掲載されています。

東北大学バスケットボール連盟

<http://www.geocities.co.jp/CollegeLife/4126/10-1-2-results.html>

## 創部4年目の女子サッカー部が初優勝



創部4年目の女子サッカー部が、10月9 - 11日に弘前市で行われた「第19回全日本大学女子サッカー選手権大会 東北地域大会」において、大会18連覇中の山形大学を1-0で下し、初優勝しました。これにより、11月26 - 28日に大阪府堺フットボールセンターで行われるインカレの初出場が確定しました。全国大会でも持ち前の組織プレーで飛躍してもらいたいものです。

14日には学生が佐伯部長、黒澤監督とともに朴澤学長に優勝報告を行いました。朴澤学長からは、「初優勝おめでとうございます。インカレでも頑張ってきてください。」との声が掛け

られ、学生も全国大会での活躍を誓っていました。

キャプテン **小田千絵美さん**(体育4年)

副キャプテン **石田智子さん**(体育4年)



創部メンバーとして、最終学年で初優勝できたことは本当に嬉しいです。創部当初はメンバーが揃わずにチームを組めないこともありましたが、佐伯部長と黒澤監督の下、年々選手層が厚くなり、現在は25名の選手とチームを陰で支えてくれる5名のサポートスタッフがあり、先輩後輩の垣根もなくファミリーのようなチームです。今年は「インカレ出場、インカレ1勝」をチームの目標として練習に取り組んできました。一つの目標であったインカレの出場権は獲得したので、もう一つの目標であるインカレでの1勝を果たすため、大会までの1ヶ月でチーム力をさらに上げたいと思います。インカレは4チーム総当りによる1次リーグを行い、1位のみがベスト4進出となるので、1勝することは大きな結果につながる可能性が十分にあります。チーム一丸頑張りますので、応援よろしくをお願いします。

## 第51回全日本新人選手権大会



10月15 - 17日に全日本新人選手権が埼玉県戸田市にて行われ、男子エイトで準優勝、女子クォドルプルで第3位に入りました。

男子エイトメンバー

上段 / 畠山惇史さん、赤池恵介さん、赤間拓哉さん、池内風さん、川村歩さん

下段 / 外崎海舟さん、阿部大貴さん、納城紘一さん、福田海人さん



女子クォドルプル

前田佑美さん、山崎可奈子さん、大角真央さん、宮本明子さん、依田光さん